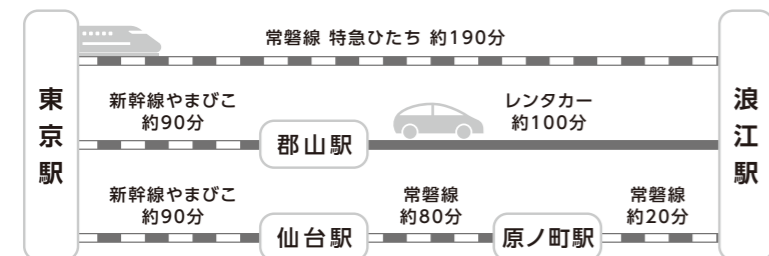


浪江町へのアクセス

- 鉄道：常磐線 浪江駅
- いわき駅から約100分
 - 仙台駅から約110分
- 道路：常磐自動車道 浪江IC
- いわき中央ICから50分、仙台東ICから70分
 - 国道114号 福島市から100分



生活情報 多数ある飲食店や町イベントなどの情報はコチラから! <https://www.730.media/>



- 【教育】
- 浪江にじいろこども園(幼保連携型認定こども園)
 - なみえ創成小中学校



浪江にじいろこども園 なみえ創成小中学校

- 【医療・福祉】
- 浪江診療所
 - なみえ調剤薬局
 - 浪江町社会福祉協議会
 - 山村デンタルクリニック
 - 豊嶋歯科医院



なみえ調剤薬局

※双葉郡周辺の医療機関マップはこちら <https://www.fsrt.jp/information/3957.html>



- 【買い物】
- スーパー イオン浪江店 ●コンビニエンスストア 4店舗
 - 道の駅なみえ(直売所、無印良品)



道の駅なみえ 無印良品



イオン浪江店 浪江FCVレンタカー 福島いこいの村なみえ

就農に関する相談を受け付けています



浪江町農林水産課では、町内での新規就農に関する相談を随時受け付けています。就農前の研修先や各種支援制度についてもご紹介することができます。就農イベントにも積極的に参加していますので、ぜひお気軽にお問い合わせください!

町の就農に関する情報はコチラ



福島県で農業しよう! ふくのう



相双就農ポータルサイト



浪江フラワープロジェクトの最新情報をホームページで! <https://www.namie-flower.jp>



Facebookもチェック

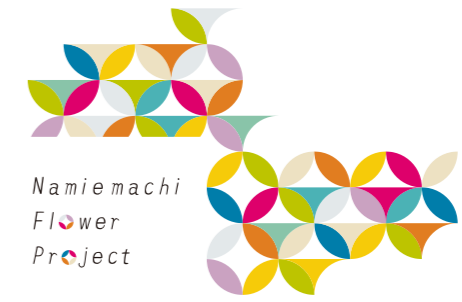
浪江町 農林水産課
〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-34-0245
<https://www.town.namie.fukushima.jp>



農業を
咲かせる
浪江町



農業を盛り上げよう



いま、福島県浪江町では新しく農業をはじめめる人が増えています。
被災地復興を目指してゼロから栽培がはじまった花き栽培をはじめ、
米、長ネギ、玉ネギ、ニンニク、エゴマ、イチゴ…など、
さまざまな農産物の生産がはじまり、町外からの就農者や企業参入も増えています。
新しい農業のカタチ、新しい未来の暮らし。
新しい浪江町で農業にチャレンジしてみませんか？



※写真は主な営農者です。2023年2月現在、浪江町では約30組の営農が行われています。



**なみえ
まるみえ**

生活環境も充実! 各種店舗やイベント情報はコチラ!

浪江町ってどんな町?

福島県の沿岸部である浜通りのほぼ中央に位置する浪江町は、東は太平洋に面し、西は阿武隈山系に囲まれ、山も、川も、海もある自然豊かな場所です。「請戸もの」と呼ばれる高品質な海産物や日本酒「磐城寿」など美味しいものもたくさん。また、1200年の伝統を持つ「相馬野馬追」や「大堀相馬焼」などの伝統文化と共に、B1グランプリで優勝した「なみえ焼そば」、さらにエネルギーの地産地消を目指した「水素発電」など、最先端テクノロジーと面白カルチャーが混在する「チャレンジの町」です。浪江町に足を運んで、いまの浪江町を見て感じてみませんか?



浪江町の農業・農作物について

浪江町は山・川・海に囲まれた自然豊かな土地で、温暖な気候は農業に適していると言われています。町内外の事業者企業が、花きをはじめ米や野菜など多様な品目を栽培を行っており、地域農業の再生が進んでいます。

東京オリンピック2020でピクトリーブーケに採用されたトルコギキョウをはじめ高品質の花き栽培が行われています。またユーカリ・コニファーなどの花木も首都圏で人気となっています。

2011年に誕生した福島県のブランド米「天のつば」を中心に栽培しています。それ以外にもコシヒカリなど様々な品種が作付けされています。

先輩農家からの指導をうけ、エゴマ油をはじめ、様々な6次化による商品開発も進んでいます。



イチゴ・イチジクをはじめとした果物栽培もはじまっています。道の駅なみえなどで販売され人気となっています。

「浜の輝」という福島県オリジナルブランドの生産に力を入れています。春植え/秋植えを計画できます。

気候条件が合うことから、新規参入による新たな担い手が生まれています。

01
Namie Town
FARMING LIFESTYLE



きっと上手くいく！
この思いがあれば
なんでも出来る可能性が
浪江にはあるはずです。



インタビュー動画は
“なみえチャンネル”で公開中

吉田さやかさん ニンニク栽培

農業をはじめた理由とやりがいについて

ひとりで始めた1年目、不安もありましたがワクワク感の方が大きかったですね。3年目の今は、それより何百倍もの楽しさを味わっています。協力してくれる方々が少しずつ集まってきて、誰かが一緒に見てやってくれることが一番の励みになっています。サムライガーリックというブランドの名前で販売しているんですけど、味が本当に食べやすく美味しいよね！っていう声と、お土産品として手に取ってくださる方が増えたのが一番嬉しいです。やっぱり買ってくださる方の顔が見えて、喜んでくださっている言葉とかをSNSとか関係者の皆様から聞いた時が一番嬉しいし、やる気が出ます。

相馬野馬追のため、常に馬と共にいるので、その馬達の堆肥を使って栽培を続けることが私の一番のこだわりです。失敗しても何回もチャレンジするという信念は常に持ち続けています。

ニンニク栽培1年間のスケジュール

この浜通り地区は暖かいので、植え付けは青森に比べて2ヶ月程度遅らせています。収穫まで7ヶ月くらいですが、その間も草取りとか、色々な作業はずっと続いていて、収穫後も選別作業とか、根切り、葉切りとか調整している間に、あれ？もう次の植え付けの時期が近いなと。作業としては年中、1年を通して続いている感じです。休みはとにかく無い(笑)。ただ休みが無いから大変=やりたくないってことではなくて、意欲的に自分で毎日作業しているって感じです。

収入についてと今後の目標

収入は、今年は1年を通してニンニクを販売出来そうなので、その月にどれくらい売り上げがあったかっていうところになります。浪江町の魅力を発信してくださる皆様のおかげもあって、関東の方の飲食店さんにも使っていただけるようになり、「道の駅なみえ」でのお土産としての販売半分、飲食店さんへの売り上げが半分っていう感じです。今後は、浪江や福島から飛び出して、全国の方にこの浜通り地域の伝統文化と食文化も含めて、広く拡がってほしいなと思っています。

新規就農者へのアドバイスと浪江町について

浪江町は風が気持ち良いし、農地も場所によって色々な種類の土があるので、これからの農業の可能性は大きいと思います。また、ベテランの農家さんが近くに沢山いらっしゃるの、わからないことは、どんどん聞いていける良いタイミングだと思います。

ただ、自分が本当に作りたい、育てていきたい作物をしっかりと考えて選んだ方が良いと思います。家庭菜園の延長みたくは難しいと思います。

でも、せっかく浪江に興味をもってくれたなら、どんどん色々なことにチャレンジしてもらいたいと思います。なんでも出来る可能性が浪江にはあるはずです！





出来る限り手を掛ける。
これだけを買ける
師匠や仲間が
浪江にはいるんです。



インタビュー動画は
“なみえチャンネル”で公開中

渡瀬正教さん・恵美さん 花き栽培

農業をはじめた理由とやりがいについて

農業は小さい頃からの夢でした。緑が少ない都会で育ったので、一面の花畑ってというのが自分で作れるなんて思ってもみなかったので、移住した際に花農家になることがすごく嬉しくて。品質に関しては、もう文句なしのものが出来ていると思います。自分達の花が市場で高値で売れた時、やっぱり認めてもらった!という実感があります。また「綺麗ね!」って直接声を掛けてくださる時が特に嬉しいですね。

花き農家の1年間のスケジュール

自分達の場合は、メインのトルコギキョウを3ヶ月に渡って出荷します。そのトルコギキョウが終わった後に、冬作として金魚草をやっています。本当に1日、目を離すだけでももう劇的に変わってしまいます。(花の管理は)そんなに甘くはないだろうな…とは思っていたんですけど、想像以上ではありました。今は臨機応変の毎日で、二人でやりきれない限界みたいなのを実感したので、これからは出来る範囲で収入も分散させつつ、栽培も分散させようっていう方向になりつつあります。風を読みながら、ハウスの開け閉めをして風の変化に細かく対応するっていうのが、良い花に繋がっていくのかなって思います。温度を花にとって一番ベストな状態にもっていくっていうのが、とても重要なんですよ。

収入についてと今後の目標

収入は年2回ですね。トルコギキョウが一番大きな収入源です。花の生き生きとした新鮮さや色を特に大切に、他の種類の花にも挑戦していきたいと思っています。出来る限り手を掛けて良い花を作っていきたいです。花の品質が良くなれば単価も上がるでしょう。販売先を増やしていくっていうのもこれからの課題で、より多くの方に買っていただくことで、自分達のやり甲斐にも繋がるのかなって思います。

新規就農者へのアドバイスと浪江町について

浪江町はすぐ近くに海も山もあって最高ですよ。浪江町独自の補助金というのがいくつもありますので、どれが使えるのかっていうのを役場と相談して、使えるものはその条件なんかを把握しておいた方が良いと思います。慣れて収入を沢山取れるようになるまで、やっぱり何年かかかりますから、資金だけはよく計算して来た方が良いと思いますね。栽培の方法とか手順とかは研修で師匠にも教えてもらえますし、それぞれの花農家に色々な思いなどを聞いて回ってみるのが良いと思いますね。それでイケると思ったらやってみたら良いと思います。今まで全く経験がないことですから、とにかくやってみるしかないですね!





何も考えずに
まずやってみなよ!
地域の手伝いから
始めるのもアリだと思う。



インタビュー動画は
“なみえチャンネル”で公開中

半谷啓徳さん 水稻栽培

農業をはじめた理由とやりがいについて

就農する前は民間の会社でサラリーマンをしていました。もともと父親が兼業農家で米作りをしていて、震災後は一旦営農が出来なくなりましたが、除染が済んだ農地で試験栽培がはじまって、そういった取り組みを見ている中で、今度は自分がこの浪江町で「やろう!」と思ってここで就農しました。今思えば思い切った事をしたな…とは思いますが(笑)。

福島県が主催した研修を1年受けて、その後農業法人で2年間勉強をしました。正直なところ大変ですが、毎日楽しく農作業しています。やっぱり1年かけて育てた米の収穫時は一番やりがいを感じますし、楽しいですね。

米単独での就農にあたり取り組んだこと

販売ルートを自分で確立しながら米作りをしています。お米が余っていて米価が下がっているという傾向がずっと続いている状態で、米だけで単独で就農しようとすると、経費と売価に釣り合いが取れないところがどうしても出てきちゃうので、契約栽培とか、そういったものを取り入れてやっていこう!という形に決めてから始めました。売り先はいっぱい確保していた方が良いし、リスクは分散させた方が良くて常に考えて米作りをしていますね。

収入についてと意気込み

米は年に1回、秋しか収入がないんです。そうしたら1年分生活するための、自分に必要なお金と、お米を作るために必要な経費を確実に確保しておかないと、次の秋まで生活できません。秋に収入があったもので、また次の年計画を経てやっていかないといけないので、自分が生活するために必要なお金、経営するために必要なお金を、大まかでいいから把握して、その収入を確保するために、自分のやりたいものだけで賄えないのだったら、違うものを作っていかとか、しっかり考えておかないと難しいです。それはとても大事だと思いますね。米は本当に美味しいと思います! 買っていたいでいる方にもとても美味しいと言っていたいでいるので、本当にやりがいはありますね。

新規就農者へのアドバイスと浪江町について

「何も考えずに、まずやってみなよ!」って私は言いたいです。農業ってどうしても個人で始めようと思うと、初期の投資がかなり大きくなってしまおうのですが、そういったところは考えず、まず地域の中で農作業をやっている人達の手伝いをするとか、とりあえず農業に触れて欲しいと思います。最近は若い人が増えてきて、浪江町の農業は元気なのかなと思います。私自身、町から色々な補助事業だったり支援だったり支えてもらっているので、多分、チャレンジしたいなって思っ来てもらえれば、覚悟は必要でしょうけど、受け入れてもらいやすいと思います。





日々ハウスへ通勤 経営は苦手だけど 自分で育み販売する 就農の多様性。



インタビュー動画は
“なみえチャンネル”で公開中

吉田実和さん イチゴ栽培

農業をはじめた理由とやりがいについて

最初は酪農の仕事がしたいと思って八ヶ岳(長野県)の農業学校に行ったんですが、そこでオリエンテーションの時に野菜の栽培などに関わる機会があって、特に果物の栽培に興味を持ちました。自分の中でやったことのない仕事に就きたくて、どこかで果物できる場所はないかなって探し始めたのがきっかけです。自分で植えた苗がだんだん大きくなって、実がなってくる。それに自分で値段をつけて販売して、お客様から「このイチゴ美味しい!」とか「また食べたい」って直に言ってもらえるのが、やっぱり自分の中のやりがいなのかなって思います。自分のイチゴを求めている人がいるって思うと本当に嬉しいですね。

イチゴ栽培1年間のスケジュール

冬はイチゴ、夏はブドウの作業をしています。5月から11月、12月までブドウの作業があって、イチゴは11月、12月から始めて5月くらいまで作業があるって感じですね。出荷時期は午前中は作業して、午後からは収穫してパック詰めして、翌朝に出荷するというのが基本的な流れです。土日が基本的に休日になります。

収入についてと今後の目標

正社員として働いているので、毎月給料をいただきながらイチゴ、ブドウ栽培に携わっています。自分の典型的に独立して自営で農業をする、というよりは今の雇用就農のような形で農業を続けられるのが個人的に理想だと思ってます。今後の目標としては衛生管理責任者の資格をとって、ドライフルーツなどの加工品などを作っていきたいです。

新規就農者へのアドバイスと浪江町について

農業に携わる仕事に就くにあたって、私の場合は学費が免除される新規就農向けの支援事業も活用して農業学校に通い勉強をしました。浪江町に移住して5年になりますが、きっかけは完全に母ですね。何か復興の役に立ちたいという気持ちから、ご縁があって浪江町を知って、私も一緒に浪江町を周ったんです。その時、町民の皆さんがすごいアットホームで本当に温かいなって思って。それが浪江町で就職先を探そうと思ったきっかけになりました。それまでは埼玉に住んでいたんで、比べればお店なんかは少ないですけど、不便と感じたことはあまりないですね。あと、気候がとても良いなって思ってます。夏も涼しかったりとか、雪は降りますが積もったりすることはないので、農業にもすごく良いと思います。人も温かくてとても住みやすい町だって思いますから、是非ここで就農を考えてみて良いんじゃないでしょうか。



『浪江町独自の就農支援』をご活用ください



● 浪江町農業担い手確保のための支援事業

事業名	概要	補助率・上限額	対象者	備考
新規就農者確保促進事業	新規就農者及び新規就農を希望する者に対し、収入及び家賃の支援。(最長2年間)	①収入補てん:月額10万円、家賃補助:上限6万円/月	認定新規就農者	※いずれも交付終了後、5年以上浪江町に居住し、農業を続けることが必須条件です。
		②家賃補助:上限6万円/月	雇用就農者	
		③収入補てん:月額5万円、家賃補助:上限6万円/月	就農研修生	
新規就農者経営発展支援事業	認定新規就農者の経営開始時の自己資金の負担軽減や、経営発展に必要な設備投資への支援。	①経営発展等に必要な経費(1経営体あたり上限100万円) ②経営発展等に必要な経費(1経営体あたり上限50万円)	移住者の方 移住者でない方	※申請は1経営体につき1回限り。
農業法人参入促進支援事業	農業法人が農地及び拠点となる事務所等を賃借する際の賃借料を支援。(最長2年間)	①農地の賃借料の1/2で5千円10aかつ1経営体当たり年間上限25万円 ②事務所等の賃借料(上限10万円/月)	町内で営農をする法人	※認定農業者または認定新規就農者であり、町内で農業経営を開始して3年以内であることなどが前提条件です。
大型特殊免許等取得支援事業	農業に使用するための大型特殊免許取得の教習費用	教習費用の1/2(上限5万円)	町に住民登録があり、普通免許を取得している農業者の方	
	農業に使用するための牽引免許取得の教習費用	教習費用の1/2(上限8万円)		
スマート農業導入支援事業	スマート農業技術(ロボットやICT技術等)の導入又は技術の利用に要する経費を支援。 ※通信料は除く	対象事業費の2/3(上限100万円)	認定農業者 認定新規就農者 農業者団体	※申請は1経営体につき1回限り。

● 浪江町立上る営農等への支援事業

浪江町内で本格的な営農の再開に向けた農業機械の点検や簡易なビニールハウスの整備、営農の組織化、町内農産物の加工品、販売促進に向けた取り組みなどを浪江町独自の事業として支援します。

- 対象者 ①農業者団体(復興組合、生産組合等の農業者が組織する団体) ②新規参入者(町内で新たに営農を行う方)
- 採択条件 ①受益の農家が3戸以上 ②会計手続きを適正に行えること
- 複数件を申請する場合、1申請者あたり当該年度の補助総額は200万円が上限


立上る営農への補助	管理用小型機械等の整備	定植や消毒、収穫等に必要な小型管理機等の購入	補助率50%(上限50万円)	※初めて「立上る営農への補助」を申請した年度から5年間申請が可能です。
	施設等の整備	簡易なビニールハウスの整備費(新規参入者の場合)	補助率100%(上限100万円)	
	農地の改善等に向けた活動	農地の改善等に有効な緑肥作物の種子購入費	補助率50%(上限50万円)	
	新規就農者・営農再開農業者への支援(企業法人は除く)	農具、被覆資材、農薬、消毒剤、梱包資材等、営農初期に必要な資材	補助率50%(上限10万円)	
歩み出す営農への補助	町内農産物の加工及び販売促進に向けた活動	①加工及び販売用の簡易な装置等の整備費	補助率50%(上限100万円)	※県補助等がある場合は除く。
		②販売促進会等の開催経費	補助率100%(上限100万円)	
		③PR用資材等の製作費		
		④会議費及び旅費		
	GAP等取得の支援	①研修及び講習受講費 ②勉強会開催経費、図書等購入		

国、県等その他の就農に関する補助・支援制度

事業名	内容	概要	問合せ先	備考
原子力被災12市町村農業者支援事業		【対象】 新規就農を含む、営農目的の農業者 【内容】 機械、施設整備等の初期コストの補助として、事業費(限度額1,000万円 [※])の3/4を補助。 ※町が特に必要と認めた場合、限度額3,000万円	浪江町役場 農林水産課	※新規就農の場合、認定新規就農者であること
新規就農者育成総合対策事業	①就農準備資金	【対象】 就農に向けて県認定期間で農業研修を受ける者 【内容】 研修中の生活資金の補助を目的として最大150万円/年を交付。 ※最長2年間	福島県農業経営・就農支援センター	※就農予定時の年齢が49歳以下であること。 ※前年の世帯所得が600万円以下であること等、複数の交付要件があります。
	②経営開始資金	【対象】 認定新規就農者 【内容】 就農初期の生活資金の補助を目的として最大150万円/年を交付。 ※最長3年間		
	③初期投資促進事業	【対象】 認定新規就農者 【内容】 農業機械や施設等、就農に必要な初期コストの補助として、事業費(限度額1000万円)の3/4を補助。		
青年等就農資金		【対象】 認定新規就農者 【内容】 新規就農者向けの無利子の資金融資	日本政策金融公庫 ※最寄りのJA支店に要問合せ	

移住準備・移住に関する支援制度


移住準備・移住支援	主な移住定住支援制度	【移住に関する支援制度や情報については、以下ホームページを参照ください】  浪江町役場 移住定住支援制度 https://www.town.namie.fukushima.jp/site/ijyuteijyu/25206.html
	浪江町移住ガイド	【移住案内・情報については、以下ホームページを参照ください】  一般社団法人 まちづくりなみえ https://iju.mdnamie.jp/



“手厚いサポートが浪江町で農業を始める決め手になりました”

恒栄電設株式会社 代表取締役社長 小林 永治さん

私たちは幾世橋地区で2021年よりトルコギキョウの栽培を行っています。会社として浜通りで農業を始めようと考えていたときに、一番手厚く支援してくれたのが浪江町でした。役場の方には土地探しや助成金の申請等多岐に渡ってサポートしていただきました。NPO法人Jinの川村さんの指導を受けて社員と花を育てています。電気分野での会社の強みを生かし、一大産地を目指して、将来的には浪江町での就農に繋がる取り組みもしたいと考えています。 ※QRコードからインタビューをご覧ください



※これらの補助・支援制度はこれまでの経験や実績、就農計画など総合的に審査されたうえで採択が決まるため、必ず活用できるという保証はありません。